

にゃめうさ について

とりあえず、造語です。

うちが発端ではなく、別サイト様なんですが発端不明。

にゃんこめりか、うさぎあーさー、で略して「にゃめ」と「ウーサー」(さらに略して「ウサ」)となつて、「にゃめうさ」になったんだと思いますが。

正直、外見を愛でる為だけのバロだと思うので、小説には向かないですよ。

可愛さが伝わるように努力はしましたが。

作品について

にゃめうさは、基本的に子メリと子リスくいをイメージして書いてます。

なので、喋りがかなり幼いです。基本、可愛い優先もあって平仮名。しかも、舌が回ってないのできちんと発音できてない音がたくさん。

書き下ろしだけではなく、サイト再録まで入れてあるのはなんとなくけじめとして入れておこうかと思ったからです。

それに、続編が出るとはあまり思えない(苦笑)

でも、再録してないものもあります。…なんか、描写の卑猥な雰囲気能耐えかねたといいますか…。明らかに再録したら浮きそうだったので。

設定一覧。

耳持ち	品種	飼主
アルフレッド (アメリカ)	こねこ	フランシス (フランス)
アーサー (イギリス)	こうさぎ(ろっふいヤー)	アントーニョ (スペイン)
ロヴィーノ (ロマーノ)	こうさぎ	アントーニョ (スペイン)
フェリシアーノ (イタリア)	こうさぎ	ルートヴィッヒ (ドイツ)
ギルベルト (プロイセン)	いぬ	ローデリヒ (オーストリア)
エリザベータ (ハンガリー)	ねこ	ローデリヒ (オーストリア)

第 話

「あーちゃー……」

今日も隣の家に忍び込んだ。

庭先に入った途端に見つけた目的の相手に、喜びの声を上げて名前を呼ぶ。

呼ぶと、すぐにうちを向いてくれるアーサーが、嬉しそうに笑ってくれた。

「あるー」

「あーちゃー」

走って近づいて、そのまま抱きしめてみる。

「ある」

ぎゅぎゅつと抱きしめる腕の中、アーサーがくっついてくれる。

「……ん、あほ猫！ 何さーしとんねん！」

いきなり特徴ある怒鳴り声と同時に、アーサーから引き離された。

「あーちゃー……」

空中でふらふらと摘み上げられて、離されたアーサーが気になって名前を呼ぶ。

「ありゅー」

ちよっぴり涙目になっているアーサーが、俺に向かって手を伸ばしながら名前を呼んでくれる。

ぎゅつと眉を寄せているその顔は、泣く、正手前の表情だ。

泣いちやダメなんだぞ、アーサー！

俺は、ヒーローなんだから、君を泣かせないって決めたんだからね！ だから、こついう時はどうしたら良いのかも知っている。アーサーを抱きしめて、優しく撫でて上げるんだぞ！

そう思ったら、この状況をどうにかしなければいけない。まずは、脱出だ！

「やあつ！ あんとーによ、ありゅをおろせよ……」

王懸命に飼い主に向かって訴えているアーサーに、アントーニが答えている。

「どうしたんや？ ちよお、待ってなー。このアホをフランシスに渡してくるさかいなー」

フランシスは、俺の飼い主なんだぞ！ でも、いつも放っておかれる。俺は、そのほうが嬉しいんだけどね。だって、好きなきに家を出られるなら、好きなきにアーサーに会いに来られるんだぞ！